

華陽診療所は1969年9月8日に開所となり、岐阜民医連発祥の地です。その後にみどり病院やこがねだ診療所などの事業所が順次開所し現在に至ります。

現在の所長は法人の前理事長の岩井雄司医師です。他に非常勤の医師やみどり病院から支援に来ている医師も合わせると総勢8名ほどの医師が華陽診療所の診療に関わっています。法人看護部長含む看護師5名、事務3名と、人数は少ないですが全員が力を合わせて地域医療に取り組んでいます。

みどり病院薬剤部は、現在4名の薬剤師・2名の補助員が働いています。入院患者さんの調剤・薬効の評価だけでなく、在庫管理含め、あまり目立たないところで重要な役割を担っていますが、特に薬事委員会の活動についてお話しします。

「30周年記念誌『清流のほとりで』」発刊の御あいさつ

- 副作用と疑わしきものを早期発見（定期的な検査・医師・薬剤師だけでなく多職種からの気付き・報告）
- 新薬評価（すぐに採用しない）、積極的な後発品採用（後発品評価）

華陽診療所の特徴として、70代～90代の昔から長い間受診されている患者さんが大勢いらっしゃることですが、小児診療も行っています。そのため、若い世代の患者さんも多く全世代が安心して受診できる診療所です。高血圧や糖尿病などの慢性疾患医療と風邪などの急性疾患医療の他、通院が困難な患者さんは在宅医療（訪問診療・往診）も行っています。健診や予防接種などの保健予防活動も行っており、岐阜市の特定健診や企業健診、小児の予防接種やイン

華陽診療所の紹介

事務長 松田 英史

フルエンザワクチン、コロナワクチン接種も行っています。

診療所2階には「デイサービス」があり、3階には「介護保険相談センターかよう」があります。日々、デイサービスやケアマネジャーと連携をとり、その人の生活を医療介護両面から支えることができるようになります。

華陽診療所は地域の中で信頼され貢献できる医療機関を目指して頑張りますので、今後ともよろしくお願ひします。



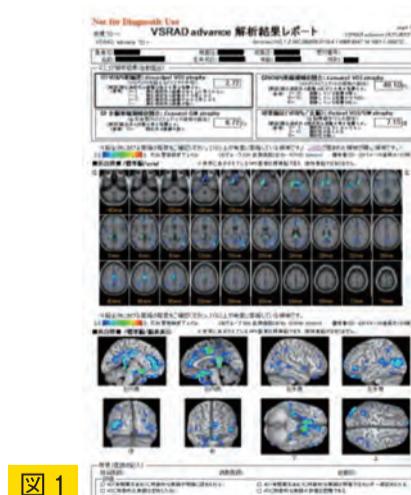
みどり病院 薬剤部の紹介

みどり病院 薬剤部 薬剤部長 今西 正人



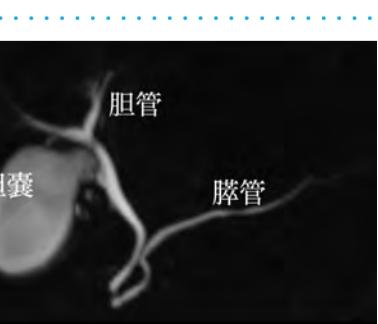
新病院に導入するMRIと骨密度測定機械紹介

2024年5月開院予定の新病院では、新しくMRI装置と骨密度測定装置(DEXA: デキサ)が導入されます。この2つの装置について紹介します。



新機能①：アルツハイマー型認知症の検査

VSRAD(ブイエスラド)という、アルツハイマー型認知症の有無を図1のような解析レポートを作成し、診断することが出来ます。



新機能②：腹部領域の検査

代表的なものとして、肝臓・胆嚢・脾臓の領域を撮像し、結石や腫瘍の有無を検査することが出来る『MRCP(エム・アール・シー・ピー)』という検査です。図2のような画像を撮像し、診断することができるようになります。

図2

骨密度測定装置(DEXA)

現骨密度測定装置は踵の骨に超音波を当てて、骨密度を測定するものになりますが、この方法では測定値の精度が低く、骨粗鬆症のスクリーニングは出来ても骨粗鬆症の診断や治療効果の経過観察は出来ず、それを行うためには他の整形外科へ行き、検査を受ける必要がありました。これが新病院に導入するDEXAでは、【腰椎】と【大腿骨】の2カ所をレントゲンで撮影をして骨密度を測定する、学会でも認められた測定精度の高いものとなり、骨粗鬆症の診断から治療効果の経過観察まで当院で一貫して行うことが出来るようになります。

新病院移転後もみどり病院放射線科では、これらの新しい装置を活用し、地域の皆様の健康を守っていきたいと思います。新しい医療機器、検査についての疑問、質問等ありましたら、みどり病院放射線科までお問い合わせください。

連絡先：みどり病院
058-241-0681

